

2025 年第 2 回 IEEE 東京支部理事会 議事録（案）

日 時：2025 年 6 月 20 日（金）13:30～17:00

場 所：日立製作所 本社 秋葉原ダイビル 24 階 Meeting Room6

出席者：平本 Chair、鈴木 Vice Chair、久本 Secretary、菅原 Treasurer

<以下 順不同>

木村 COC Chair、馬場 FNC Chair、平野 NC Chair、松本 TPC Chair、吉田 SAC Chair、武田 PC Secretary、喜々津 HC Vice Chair、浅井東京支部 Secretary Elect、林 LMAG Chair、小野寺 YP Chair、野中 WIE Chair、奥村 Past Secretary、樋口 Past Treasurer

オブザーバー

稲森 EA Chair

鈴木（麻）SIGHT Chair

事務局：加藤事務局員、福岡事務局員

幹事会社：千野、大鰐、木村（記）

（出席者合計 19 名 現地参加：14 名 オンライン参加：5 名 欠席者 3 名）

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】
2. Japan Council 理事会(2025 年第 1 回)報告
3. 2025 年中間会計報告
4. 委員会活動報告
 - 4-1 Chapter Operations Committee
 - 4-2 Fellow Nominations Committee
 - 4-3 Membership Development Committee
 - 4-4 Nominations Committee
 - 4-5 Technical Program Committee
 - 4-6 Publications Committee
 - 4-7 Student Activities Committee
 - 4-8 History Committee
5. Affinity Group 活動報告
 - 5-1 Life Members Affinity Group
 - 5-2 Young Professionals Affinity Group
 - 5-3 Women in Engineering

6. その他

6-1 VICS 2025 報告

6-2 HTC 2025 報告

6-3 EA 報告（順番を入れ替え報告）

6-4 SIGHT 報告（順番を入れ替え報告）

6-5 役員選挙案について（議題 4 で審議・承認）

6-6 公式ロゴについて

【議事 ＜審議・決定事項＞】

以下の審議事項につき、異議なく承認された。

議事 1. 前回理事会議事録

議事 4-4. NC(Nomination Committee)

vTools を用いた東京支部役員（4 役）選出の手続き（案）

議事 4-6. PC (Publications Committee)

ホームページに現掲載のコンテンツの責任部署（委員会, Affinity Group 等）を明記し、HP の内容更新はその部署が実施

議事 6-1. EA (Educational Committee)

イベント等開催のための来年度予算申請

議事 6-5. 公式ロゴ作成

第 1 回 JC 理事会で承認された JC 公式ロゴ作成にあわせ、東京支部のロゴを作成

【議事概要】 ※各報告内容詳細については理事会資料をご参照。

IEEE 東京支部平本 Chair より挨拶

議事 1. 前回理事会議事録の確認

【審議】久本 Secretary より以下 6 点について再確認の説明があり、異議なく承認された。

- ① 支部の運営方針として、定常的な事務作業は原則 Committee/Group 等で対応する。
- ② 理事会構成として、Secretary Elect に三菱電機の浅井氏、稲森 EA Chair にオブザーバー参加してもらうことを明記。
- ③ 活動経費はキャッシュフローベースで進め、12 月末を期限として締める。秋頃に事務局より関係各位にはリマインド連絡をする。
- ④ 2025 年の東京本部としての二大イベントであるうちの 1 つの IEEE 本部主催の最大級イベントである VICS が東京で開催され、東京支部と JC がスポンサーとして参加した。2 つ目は 9 月末～10 月初めの HTC2025 の開催（議題その他で詳細報告）
- ⑤ 海外交流についての提案を SIGHT からの報告（議題その他で詳細報告）

- ⑥ 2027-2028 の役員選挙は Nomination Committee を中心に、本部のやり方に沿った形に切り替える。(NC から報告)

議事 2. Japan Council 理事会 (2025 年第 1 回)報告

久本 Secretary より前回理事会より重要点 5 の点報告があった。

- ① 監査を問題なく終えたことが報告された。
- ② JC 会計もキャッシュフローベースで行うことが報告された。
- ③ IEW2025 関西支部が開催することになったが、その際に SYWL の共催について検討する。
- ④ 次期 JC 役員選挙について、滝嶋 JC VC を中心に取り組む
- ⑤ JC 公式ロゴ作成のための委員会の発足が承認された。

議事 3. 2025 年中間会計報告

菅原 Treasurer より以下の通り報告。

- ① 5 月末に IEEE 本部より東京支部に一旦 2025 年度 JC 全体分の Section Assessment の振込があり、東京支部にはそのうちの 15% が割り当てられる。
- ② 2024 年度予算の決算分が 2025 年の支出額の一部として計上されている。
- ③ 5 月末の時点では全体的に活動を開始しているものが少ない。
- ④ 事務局より、2025 年度から開始される予算管理用フォルダの利用法について説明があった。

議事 4. 委員会活動報告 常設委員会活動報告 ※活動報告詳細は理事会資料を参照

4-1. COC(Chapter Operations Committee) 木村 Chair より報告。

- 1. 国際会議 sponsorship (MOU) に関する審議
- 2. Chapter 活動費に関する審査

11 件の審議・審査があり、9 件を承認、2 件は差し戻しとなった。

4-2. FNC(Fellow Nominations Committee) 馬場 Chair より報告。

- ① Fellow と Senior Member の簡単なガイドを作成、よく知る大学の研究者に働きかけを開始した。これを掲載する WEB を作成し、東京支部に掲載を依頼した。Secretary より今後は本資料の活用を進める発言があった。
- ② 各幹事会社の窓口である JC IPC との連携、草の根的なノミネーションの働きかけの両輪での展開で認知度を上げる。

4-3. MDC(Membership Development Committee) 久本 Secretary より代理報告。

会員継続施策の 1 つとして在籍年数に応じたピンバッジの送付を完了。感想や要望等のアンケ

ートを依頼しており、結果については第3回理事会で報告予定。

4-4. NC(Nomination Committee) 平野 Chair より報告。

- ① 来年以降の実施に向けた、IEEE 本部の方法に準じた役員選挙制度の設定を進めている。
(選挙制度改定の対象は東京支部四役、他の常設委員会は現行のとおり)
- ② 事前に EC(Election Committee)の設置が必要となるが、現 NC を EC と改名することで対応しているが、JO (Japan Office) に再確認する。6 カ月前からの準備、vTools を使用することは必須。
- ③ 選挙制度改定に伴い、Bylaws の改定も行った。

【審議】vTools を用いた東京支部役員 (4 役) 選出の手続き (案) について審議され、異議なく承認された。

4-5. TPC(Technical Program Committee) 松本 Chair より報告。

第2回講演会より、音響機器の効率化が図れた。LMAG との共催含め、年間スケジュールを順調に進行中。

4-6. PC(Publications Committee) 武田 Chair より報告。

- ① VICS2025 での JC/東京支部ブース設置準備と広報活動。
 - ② 2 件の東京 Bulletin の発行。
 - ③ TS/JC 連携によるホームページ更新に関する定例会開始。年間計画 (0 次) 策定。
- 【審議】ホームページに現掲載のコンテンツの責任部署 (委員会, Affinity Group 等) を明記し、HP の内容更新はその部署が実施する点につき、審議され、異議なく承認された。

4-7. SAC(Student Activities Committee) 吉田 Chair より報告。

- ① IEEE Tokyo Section Student Branch 内で、各イベント情報の共有や宣伝、YP との連携を継続。東京支部 SAC として HTC2025 の準備を行っている。
- ② 東京支部 SB 代表が東京農工大の源関氏に決定し、東洋大の SB 設立を準備中。
- ③ Computer Society DVP (Distinguished Visitors Program) in Japan に東京農工大学 SB 2 名と、東洋大学から 1 名の参加を支援。
- ④ Seoul Section との連絡がとれ、関係再開を検討中。
- ⑤ 東京支部内 SIGHT, YP, WIE, LMAG, EA, SAC 間で国際連携に関する意見交換を行った。

4-8. HC(History Committee) 喜々津 Secretary より報告。

- ① 東京支部提案案件が本部で承認、式典準備。
- ② 他支部と連携した提案支援を実施。

③ VICS2025 にて東京支部ブースにて展示。

④ 第1回東京支部理事会でHCに提示されたAction Itemへの対応

【審議】従来のHCアドバイザーをHCメンバーとして登録することにつき審議され、異議なく承認された。

議事 5. Affinity Group 活動報告

5-1. LMAG(Life Members Affinity Group) 林 Chair より報告。

① ネット環境の充実、動員率も高まることから、各地区のLMAGと共催でハイブリット形式による講演会を開催する方向にある。

② HTC2025では内閣府のプログラムとの連携でLMAGスペシャルセッションを準備中。

5-2. YP(Young Professional Affinity Group) 小野寺 Chair より報告。

① SBLTWでのYP説明会開催を検討中。YPの新規会員への説明が不明瞭との指摘に対し、各イベント情報を交流サーバー等で一元管理を検討中。

② Japan YP Study Laboの支出額が予算金額を超えているが、減額して調整する。

<質問・意見>

9月開催予定のHTC2025のSBのWorkshopでYP説明会を検討してほしい。

5-3. WIE(Women in Engineering) 野中 Chair より報告。

① IEEE R10 WIE ATHEnA Project #1に東京信越WIE会員（大学院生）から応募があり、所属AGとして支援。

② HTC2025のWIEセッションの準備中。

③ 予算の立て方について、項目変更があった場合の対処法につき、Treasurerに質問がされた。

<Treasurerからの回答>

変更が生じた時にTreasurerに相談。勘定項目番号は自由で問題ない。

議事 6. その他

6-1. EA(Educational Committee)からの報告 稲森 ES Chair より報告。

【審議】イベント等開催のための来年度予算申請について審議がされ、全会一致で承認された。

6-2. SIGHT 報告 鈴木（麻） Chair より報告。

① 2027-28年の役員選挙から、vToolsを用いた選挙方法で臨みたい。

② HTC2025でセッションを企画しているが、講演者が未決定であり、情報提供をお願いしたい。

③第1回東京支部理事会の際の海外交流についての議論を受け、SAC、YP、WIE、LMAG、

EA、SIGHT の Chair で意見交換会を持った。海外交流は他の国内学会にはない面であり、積極的な活動をすることで共通認識が得られた。一般会員も参加できる形を理想形として準備を進める。

6-3. VICS2025 報告 鈴木東京支部 Vice Chair より報告。
報告書に基づき、報告された。

6-4. HTC2025 準備状況報告 久本 Secretary より代理報告。
スケジュール通り準備は順調に進んでいる。論文募集は、100 件以上の投稿が寄せられた。各理事の協力に謝意。イベントへの参加奨励の依頼があった。

6-5. 公式ロゴ作成について

【審議】第 1 回 JC 理事会で承認された、JC 公式ロゴ作成に関し、希望があれば各支部のロゴ作成も進める案が出された。東京支部のロゴ作成について審議され、異議なく承認された。

以上